

18-09-19

瀬戸線 尼ヶ坂駅～清水駅間高架下開発計画について

名古屋鉄道株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:安藤隆司)は、瀬戸線尼ヶ坂駅～清水駅間の高架下における開発に着手します。

本開発の対象エリアは、名鉄瀬戸線栄町駅や大曾根駅から電車で3～5分の距離に立地し、交通アクセスにも恵まれた地域です。幅広の歩道に桜並木が続く同駅間を、デザイン性の向上や地域との協働による地域資源の活用を通して、駅間の回遊性向上とまちの新たな魅力やにぎわいの創出を目指すものです。

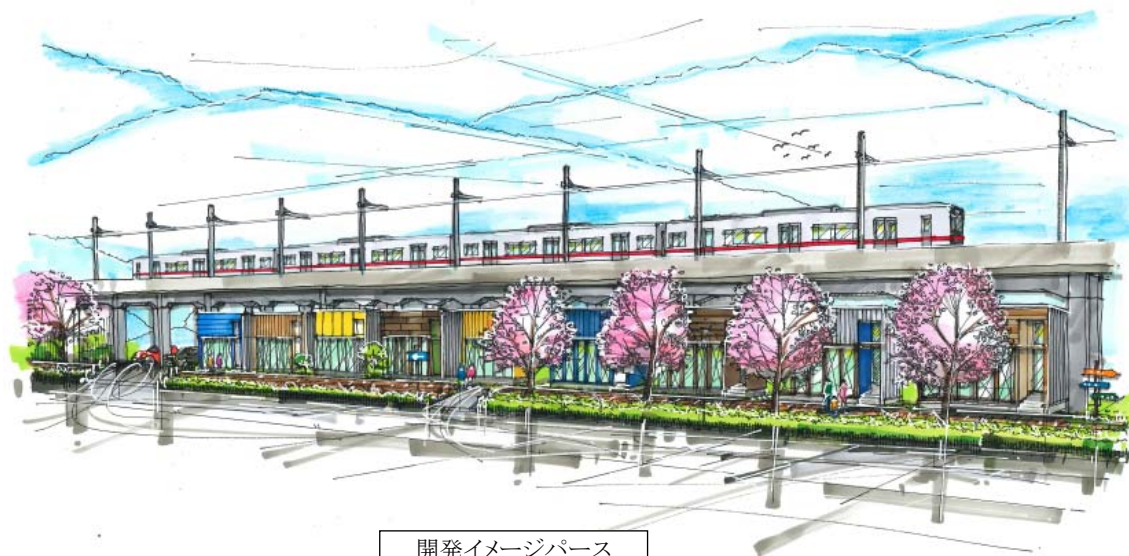
なお、本開発は、全長約500mの両駅間のうち、尼ヶ坂駅寄りの東側をⅠ期、清水駅寄りの西側をⅡ期に区分して実施し、近隣にお住まいの方にも日常的にご利用いただける施設を目指すと共に、まちの更なる一体感と、本エリアへ訪れる人々との交流創出に寄与できる施設を展開します。

詳細は、下記のとおりです。

記

名鉄瀬戸線 尼ヶ坂駅～清水駅間高架下開発計画 概要

1. 開発区域 名古屋市北区大杉一丁目 1001 番 外
(名鉄瀬戸線 尼ヶ坂駅～清水駅間)
2. 工事期間 I 期(東側) 9月20日(木)～2019年3月(予定)
II 期(西側) 2019年夏～2020年春
3. 敷地面積 約2,600 m²
4. テナント数 約25店舗
飲食店、物販店、保育施設、オフィスなど
5. 特 徴
 - ・地元企業を中心に、まちづくりの視点で地域を盛り上げる考えを持ったテナント構成
 - ・日常生活シーンと調和すると共に、駅間を歩いて楽しめる施設



開発イメージパース

	I 期	II 期
テナント数	約 10 店舗	約 15 店舗
施 工	名鉄環境造園株式会社	未定
企画設計	エイトデザイン株式会社	エイトデザイン株式会社
着 工	2018 年 9 月 20 日	2019 年夏
開 業	2019 年 3 月(予定)	2020 年春

※上記内容は現時点での計画であり、今後変更の可能性があります。

本件は、「名鉄グループ中期経営計画～BUILD UP 2020～(2018～2020 年度)」の重点テーマのひとつ「魅力ある沿線・地域づくりの推進」における、リノベーションや資産バリューアップの推進の一環として行うものです。

以上